

長期効果に関する検討

福岡教育大学教育学部

高知県保健環境部

杉村 智子

鈴木 順一郎

広島大学幼児保健学教室

清水 凡生

■ 長期効果における男女差

将来、実際に妊娠や出産を経験するかもしれない女性と。そうではない男性では、ふれあい体験学習の長期効果が異なる可能性が考えられる。そこで、未婚で子どものいない、体験学習経験群 486 名（男性 90 名、女性 396 名）と未経験群 267 名（男性 54 名、女性 213 名）について、体験学習の長期効果の評価に関するアンケート調査の結果を比較した。まず、赤ちゃんや育児についての考え方を尋ねる項目（表 1）について 5 段階の評定を求めた値を、1 から 5 の得点とした（当てはまる：1 点、やや当てはまる：2 点、どちらともいえない：3 点、あまり当てはまらない：4 点、当てはまらない：5 点）。そして、その得点をもとに、男女別に各群の平均得点を算出して t 検定を行った。平均得点と検定結果は表 1 に示す。その結果、まず、男女ともに、経験群よりも未経験群の方が、「赤ちゃんはわずらわしいと思う（問 10-6）」と考えていることが明らかになった。また、男性の未経験群は、経験群よりも、「赤ちゃんをどのようにあやしたらよいかわからなくて困る（問 10-7）」、「赤ちゃんをみると奇妙な感じがする（問 10-8）」などのイメージをもつのに対し、女性の未経験群は、経験群よりも、「育児をしていると世の中からとり残されてしまうように思う（問 10-

12)。「育児はつらい仕事だと思う（問 10-18）」、「育児をしている女性は疲れて見える（問 10-22）」などの考えを持っていることが示された。

表 1 ふれあい経験の有無による赤ちゃんや育児に関する意識差（男女別）

	経験群		未経験群	
	男性	女性	平均	平均
問10-1 赤ちゃんは好き	平均 1.81	平均 1.45	1.83	1.44
問10-2 見ていると楽しい	平均 1.80	平均 1.41	1.76	1.38
問10-3 一緒にいるのが好き	平均 2.14	平均 1.72	2.22	1.79
問10-4 世話をするのが好き	平均 2.68	平均 2.07	2.85	2.25
問10-5 赤ちゃんはかわいい	平均 1.43	平均 1.18	1.50	1.20
問10-6 赤ちゃんはわずらわしい	平均 3.54	平均 3.63	2.93***	3.31***
問10-7 あやし方がわからない	平均 2.82	平均 2.68	2.19***	2.70
問10-8 奇妙な感じがする	平均 3.90	平均 4.13	3.50**	4.00
問10-9 赤ちゃんには関心がない	平均 3.91	平均 4.38	3.78	4.25
問10-10 そばに来ると逃げたくなる	平均 4.37	平均 4.46	4.28	4.33
問10-11 育児は素晴らしい仕事	平均 1.79	平均 1.65	1.70	1.58
問10-12 世の中からとり残される	平均 4.06	平均 3.78	3.76	3.53**
問10-13 育児で自分も成長できる	平均 1.52	平均 1.34	1.67	1.37
問10-14 育児は楽しい	平均 2.72	平均 2.38	2.56	2.24
問10-15 視野が狭くなる	平均 3.27	平均 3.06	3.19	3.16
問10-16 育児は女性の生きがい	平均 2.97	平均 2.68	2.74	2.75
問10-17 育児は男性の生きがい	平均 2.37	平均 2.63	2.67	2.68
問10-18 育児はつらい仕事	平均 2.21	平均 2.58	1.94	2.35**
問10-19 育児でしたいことができない	平均 2.36	平均 2.30	2.07	2.23
問10-20 育児はつまらない仕事	平均 4.16	平均 4.30	3.89	4.28
問10-21 育児で女性は輝いて見える	平均 2.13	平均 2.24	2.24	2.25
問10-22 育児で女性は疲れて見える	平均 3.92	平均 3.58	3.76	3.38**
問10-23 育児で男性は輝いて見える	平均 2.78	平均 2.61	2.67	2.46
問10-24 育児で男性は疲れて見える	平均 3.60	平均 3.83	3.81	3.68

* 1 あてはまる～5 あてはまらない

*** p<.01 ** p<.05

表2 ふれあい経験の有無による人工妊娠中絶についての意識差

		経験群	未経験群
男性	平均	2.22	2.44
	S D	0.77	0.57
女性	平均	2.07	2.24 ***
	S D	0.66	0.64

*** p<.01 ** p<.05

これらの結果から、つぎのようなことが示唆される。まず、男性は、体験学習によって、赤ちゃんに対して困惑するといったようなイメージが軽減され、また、あやし方のような、赤ちゃんに対する接し方のスキル面も改善されるのではないだろうか。これに対して女性は、体験学習によって、育児はつらい仕事で、世の中から取り残されるといったような、育児に対する否定的な意識が改善されると考えられる（次に、人工妊娠中絶についての意識を尋ねる項目（人工中絶についてどのように考えていますか）について、5つの選択肢から選択させた結果を得点化した（絶対にすべきではない：1点、できるだけしない方が良い：2点。やむを得ないときはしてもよい：3点、してもかまわない：4点）。なお、「わからない」と答えた21名は、分析対象から除外した。そして、その得点をもとに、男女別に各群の平均得点を算出して検定を行った。表2は平均得点と検定結果を示したものである。その結果、男性では、経験群と未経験群とで差がないのに対し、女性では経験群の方が有意に得点が低いことが明らかになった。このことから、体験学習をすることによって、妊娠中絶に対する男性の意識は変化しないが、女性は妊娠中絶に関して否定的な意識をもつようになるといえるであろう。以上のように、男性と女性では、体験学習による長期効果の質が異なるということが明らかになった。従って、このような点を考慮した上で、体験学習のプログラム等を構成す必要がある。

■ アンケート用紙の改訂

アンケート用紙について、回答者より、質問項目数が多すぎて答えにくいという意見が多数出されたのでデータの集計結果をもとにして、アンケート用紙の改訂を試みた。改定にあたっては、体験学習経験の有無で影響がないと思われる項目は削除すること

と。相関関係が高く同様の内容を尋ねているような項目は1つにまとめることを留意した。その結果、「赤ちゃんについてどのようなイメージをもっているか（問4）」については、問10（表1）と重複するので削除し、「一般的に親についてどう思うか（問5）」、「子どもを持った理由（問7）」、「子どもが欲しい（欲しくない）理由（問8）」については、体験

学習経験者と未経験者で差がみられなかったので削除した。また、今回の調査の中核である、赤ちゃんや育児についての考え方を尋ねる問10の項目については、次の通りである（表3）。改定前は、赤ちゃんに関する考え方を尋ねる10項目（肯定項目5。否定項目5）と、育児に関する考え方を尋ねる14項目（肯定項目7。否定項目7）の4カテゴリから構成されていた。改定にあたっては、上述したように、体験学習経験の有無で影響がないと思われる項目は削除すること、相関関係が高く、同様の内容を尋ねているような項目は1つにまとめること、さらに、各カテゴリの項目数のバランスがとれることを検討した。その結果、赤ちゃんに関する考え方を尋ねる6項目（肯定項目3、否定項目3）と、育児に関する考え方を尋ねる10項目（肯定項目5。否定項目5）の16項目を、改定後の項

表3 質問項目の分類と削除項目

赤ちゃんに関する項目	肯定項目	問10-1 赤ちゃんは好き 問10-2 見ていると楽しい（削除項目） 問10-3 一緒にいるのが好き（削除項目） 問10-4 世話をするのが好き 問10-5 赤ちゃんはかわいい
	否定項目	問10-6 赤ちゃんはわずらわしい 問10-7 あやし方がわからない 問10-8 奇妙な感じがする 問10-9 赤ちゃんには関心がない（削除項目） 問10-10 そばに来ると逃げたくなる（削除項目）
	肯定項目	問10-11 育児は素晴らしい仕事 問10-13 育児で自分も成長できる 問10-14 育児は楽しい
	否定項目	問10-16 育児は女性の生きがい（削除項目） 問10-17 育児は男性の生きがい（削除項目） 問10-21 育児で女性は輝いて見える 問10-23 育児で男性は輝いて見える
	肯定項目	問10-12 世の中からとり残される 問10-15 視野が狭くなる（削除項目） 問10-18 育児はつらい仕事 問10-19 育児でしたいことができない（削除項目） 問10-20 育児はつまらない仕事 問10-22 育児で女性は疲れて見える 問10-24 育児で男性は疲れて見える

目とした。

■ 子どもがいる人についての体験学習の長期効果

未婚で子どもがいない人についての調査結果では、体験学習を経験して1-7年を経過しているも、体験学習経験者は未経験者に比べると、赤ちゃ

表4 ふれあい経験の有無による赤ちゃんと言児に関する意識差
(子どもがいる人について)

	経験群	未経験群
問10-8 奇妙な感じがする	平均 4.04	4.59 **
問10-18 育児はつらい仕事	平均 2.32	2.95 **

1 あてはまる～5 あてはまらない *** p<.01 ** p<.05

んや育児に対して好意的立場にあり、人工妊娠中絶に対しては否定的立場にあることなどが明らかにされてきた。しかし、すでに子どもがいる人についても、体験学習の効果がみとめられるのだろうか。この点について検討するために、既婚で子どもがいる体験学習経験群25名(男性1名、女性24名)と未経験群41名(男性1名、女性40名)を対象として、Ⅱにおいて改定したアンケート用紙を用いて調査を行った。まず、Ⅰと同様の手続きで、赤ちゃんと言児に関する意識を比較した結果、体験学習経験群の方が、「赤ちゃんをみると奇妙な感じがする(問10-8)」と「育児はつらい仕事(問10-18)」の、2項目の意識が高くなっていた。また、人工妊娠中絶についての意識や、育児についてど

れくらい不安があるかを尋ねる項目においても、経験群と未経験群では有為な差はみられなかった。子どもがいる人では、2項目ではあるが、体験学習をしていない者の方が、赤ちゃんや育児に対して好意的立場にあるという結果であった。これは、体験学習経験者に25歳以下のものが多いのに対して、未経験者は25歳以上の者が多く(表5)、経験者に年齢の若い者が多かったことによると考えられる。また、人工妊娠中絶についての意識に差がなかったことは、体験学習よりも実際に子どもを持つことの影響のほうがはるかに大きいことを示唆するものであろう。この調査においては、回答者数も少数であり、同年代の体験学習経験者と未経験者を比較することができなかった。子どもをもってからも、体験学習の効果がみとめられるかどうかを検討するためには、このような点を留意した再調査の必要があろう。

表5 子どもがいる人の年齢分布

	経験者	未経験者
19歳以下	1 (4.0)	0 (0.0)
20-21歳	8 (32.0)	0 (0.0)
22-23歳	10 (40.0)	2 (4.9)
24-25歳	4 (16.0)	9 (22.0)
26-27歳	0 (0.0)	6 (14.6)
28-29歳	0 (0.0)	7 (17.1)
30歳以上	2 (8.0)	17 (41.5)
全体	25 (100)	41 (100)



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



子どもがいる人についての体験学習の長期効果

未婚で子どものいない人についての調査結果では、体験学習を経験して1-7年を経過していても、体験学習経験者は未経験者に比べると、赤ちゃんや育児に対して好意的立場にあり、人工妊娠中絶に対しては否定的立場にあることなどが明らかにされてきた。しかし、すでに子どもがいる人についても、体験学習の効果がみとめられるのだろうか。この点について検討するために、既婚で子どもがいる体験学習経験群25名(男性1名、女性24名)と未経験群41名(男性1名、女性40名)を対象として、において改定したアンケート用紙を用いて調査を行った。まず、Iと同様の手続きで、赤ちゃんや育児に関する意識を比較した結果、体験学習経験群の方が、「赤ちゃんをみると奇妙な感じがする(問10-8)」と「育児はつらい仕事(問10-18)」の、2項目の意識が高くなっていた。また、人工妊娠中絶についての意識や、育児についてどれくらい不安があるかを尋ねる項目においても、経験群と未経験群では有為な差はみられなかった。子どもがいる人では、2項目ではあるが、体験学習をしていない者の方が、赤ちゃんや育児に対して好意的立場にあるという結果であった。これは、体験学習経験者に25歳以下のものが多いのに対して、未経験者は25歳以上の者が多く(表5)、経験者に年齢の若い者が多かったことによると考えられる。また、人工妊娠中絶についての意識に差がなかったことは、体験学習よりも実際に子どもを持つことの影響のほうがはるかに大きいことを示唆するものであろう。この調査においては、回答者数も少数であり、同年代の体験学習経験者と未経験者を比較することができなかった。子どもをもってからも、体験学習の効果がみとめられるかどうかを検討するためには、このような点を留意した再調査の必要があろう。